

# 磐城毎日

大和町 兵衛町 市  
長 福島 平市  
社 15丁目12番地  
印刷 遠藤 孝倫  
社 磐城毎日新聞社  
式 印刷 孝倫  
社 印刷 孝倫  
電話 (平) 一〇一〇番  
定価 1ヶ月50円 1部2円  
【夕刊・月曜休刊】

投稿歓迎

## 江名町の第三太陽丸

### 久の濱沖で遭難十四名絶望

江名町中の作長田  
一漁業吉田喜好  
さん所有の第三太陽丸(四十四ト)  
は双葉郡久の濱沖  
合二十四マイルの  
地点で出漁中スト  
リューに故障を生  
じ遭難十五日午前  
七時四十分SOS  
の急報に接し、  
ついで小名濱の漁  
船四隻が風浪高く  
救助出来ずいる眼前で沈  
没乗組十四名は行方不明と  
なつた、十六日朝に至るも  
生死が判明せず絶望視され  
ている、行方不明となつた  
十四名次の通りである(敬  
稱を略す)

▲本籍新潟縣北蒲原郡松北  
村松澤、現住所船主吉  
田方、小田金二郎(大正  
四年生)

▲本籍江名町中の作川岸現  
住所右に同じ  
吉田留吉(明治三十七年  
生)

▲本籍新潟縣北蒲原郡松北  
村松澤、現住所船主吉  
田方、會田清一(昭和八  
年生)

▲本籍新潟縣北蒲原郡松北  
村松澤、現住所船主吉  
田方、甲水政雄(大正十  
四年生)

## 漁業協組の役員大會

### 平市公會堂で盛大に舉行

漁業協同組合法實施二週年  
の記念行事として福島縣漁  
業協同組合連合會では十五  
日午後一時より平市公會堂  
に於て、本市各漁業協同組  
合役員大會を開催した、來  
賓として縣知事代理、星、  
大井川、小野の地元選出縣  
會議員、箱崎石城地方事務  
所長、青沼平保健康所長其  
他多数臨席、濱三郡に亘る各  
地漁業協同組合役員二百餘  
名出席し次の如き順序によ  
つて行はれた

一、開會の辭  
二、式辭(漁業協組連合  
會)の辭  
三、満場一致可決の上程議案  
四、水産業協同組合が經營す  
る製氷、冷凍工場に對し

## 不動澤礦炭の慘事

### 礦長以下三名絶望一名負傷

内郷町白水字廣畑佐々木不  
動澤炭礦經營者佐々木幸之  
助さん長男現内郷町會議員  
徳吉(三〇)さん礦長は十五日  
午後二時頃同礦保安管理  
者鈴木義雄さんが休むため  
坑探炭夫鹿保忠治(三〇)さん  
同探炭夫加藤哲三(三〇)さん  
三名は一分間三百立方尺の  
出水のため遭難水没し生死  
不明なるも絶望と見られて  
いる、同坑は一本坑道であ  
る、同坑は坑口より六百米  
奥の最下底で四番層斜層に  
して同日新しく着炭する切  
羽のため礦長徳吉氏は指圖  
したものである、前記三名  
ある

## 平商工 議員の初總會

### 二十二日役員選舉を行う

平商工會議所では既報の通り第一回議員總會を開催し  
り去る十三日選舉會を開催(會頭一名)副會頭二名)理  
し審査の結果三十名の議員(専任理事一名)監  
を決定したが二十二日午後二時議員の選舉を行う事とな  
一時より公會堂日本間に於つた

## 平發電所の金へん泥

### 三名は逮捕一名は自首

十五日午後八時三十分頃常 源治(三〇)さん等三名は同發  
警炭礦平發電所(平市福宜 電所北側)同發電所の砲金  
町)で同發電所運搬夫大内八貫久を石油罐に入れてい

## 遭難の原釜漁船

### 僚船に救はれる

原町原釜鈴木一さん所有の  
漁船第一尾崎丸(三二ト)は  
十五日夕刻原釜沖でエン  
ジン故障のため漂流急報に  
より僚船が救助に向つた

## 貨物船のSOS

### 小名から相馬沖に急報


十五日夕刻所属不明の貨  
物船金寶丸(一〇〇ト)は  
相馬原釜沖で遭難急報が  
小名濱海上保安部よりSOS  
の急報により現場急報に  
たがまだ状況不明

## 火打ち祭りに

### 臨時バス運行

常盤交通株式會社では十七  
八、九の三日間の四ツ倉町  
の火打ち祭のため乗客の便  
をはかり午後十時頃まで隨  
時臨時バスを運行する

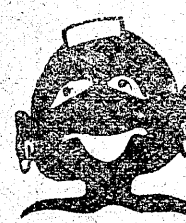
飲 食  
お 酒  
店  
八二五電 前局本市平



絶對 德用 文化木炭 厚生大臣推賞  
製造販賣(卸)小賣(配達迅速)  
各種燃料 有限 共榮燃料工業所  
取 扱 會 社  
平市正月町66(電話三〇番)  
小名濱出張所(登記所前)

本場三自慢  
肉豚牛 配達迅速  
第一線屋  
第二線屋  
第一電話五三九番  
第二電話七九四番

うまい!!!  
安!!!  
好評の シュウマイ  
中華そば  
和食 洋食  
三丁目  
平會館  
電六二四



鈴木齒科醫院  
鈴木與一郎  
平市南町 電四七八番

伊藤齒科醫院  
伊藤 一人  
平市植小路 電三四五

### 平市の二月文化講座

#### 二十五年度に於ける最終

平市に於ける二月(第五回)文化講座は市内各小學校を会場として開講することとなつたが日時、講師及擔當講座は次の通りであるが昭和二十五年度に於ける文化講座は一應これを以つて打ち切り四月から新年度の講座を開く事となつた。

▲第一小學校 二月下旬(豫定) 午後一時より 平市政について 平市助役 阿部治英氏(豫定) 口腔衛生について 齒科醫師 谷辰雄氏(豫定)

▲第二小學校 二月十六日 午後一時より 教育上の諸問題について 第二小學校 教官 山名孝三氏(外數名)

▲第三小學校 二月十六日 午後一時三十分より 道徳教育第三小學校校長 新家内五丁目 平將棋五樂會に於て 芳美氏、女性のよろこび、教委専門主事 齋谷敏子氏、B、C各組四等までと豫選勝者全部とし向今回は特賞として三回優勝者に將棋盤を贈る事となつて居る。

▲第四小學校 二月十九日 午後一時より 福島縣農業顧問 三森謙治氏、東北大學教授 大河原氏、元東北大學教授 大須賀一郎氏

▲第五小學校 二月二十三日 午後一時より 營養について 片倉製菓營養士 佐々木辰男氏、政治教育第五小學校校長 西牧清富氏

▲第六小學校 二月二十八日 午後一時より 農業經營 神谷農園場長 荒井敬助氏(外未定)

尚社會教育委員は最寄りの會場に出席し聽講者の獎勵に當られたりと市當局では希望して居る。

### 小名濱便り

小名濱町々會議員 立花秀吉氏は町議中のピカ一で、常にかんがくの正論を以て臨んで居る清廉の士であるが昨年一月二十三日身はリールに遭つて居ながらにして、町長公選に立候補した程の猛者であるだけに今後の活躍を期待されて居る中、でも氏の學校時代の同級者が現存して居るものだけで二十名に上つて居るので、選挙當時は後援會を結成し、應援母體となつて奔走した緣故から一年一回同級會を開いて舊交を温め今後の事業力を守る事として親睦を誓ふ事となつたのである。本年は二月十二日をばくし午前十時から主催者 馬目喜右衛門氏宅に催した會するものは二十名に上つた。立花秀吉氏を筆頭に岡部豊次、鈴木勝滿、佐川廣一、馬目喜右衛門、鈴木末次、大田澤司、小野照吉、星野熊吉、高橋鐵次郎、箱崎作の十氏であつたが、何れも五十九才乃至六十才の年輩者の集合は同級會としては珍らしいものであり殊には箱崎氏は京都比叡山の行者として雄名を轟かし其格式は大僧正と争ふべき地位を占めて居ると言はれる。人柄で故郷東京に來たる序でに故郷戀しを立寄れば同級會の事を聞き込み参加したと云ふ状況であつた、實に奇とする處は本社支局長 小野氏が新聞人としての臨席などありながら、變つた會合でありながら、變つた立花君が立つて挨拶があつた、リール、町長公選の時には一廉ならざる御盡力を辱ふしたと云へ感謝にたへない、御支援に預つて居る事は終生忘れ難い思い出である。幸いに今日町議と連なる以上はあの時の氣分を以て今後とも終始したいと考へるから何分よろしくと結んだ。小野支局長は起つて、本會は少くも立花氏を中心とした同級會であるのに何等の關係のない私が列席する事はおかしいと思ふがそれは本日は實は新聞人としてこのなごやかな會合に依つて選られた和氣霽々たる風景を社會に報せようとするのが私に課せられた任務と考へ出席したのである。

### 石城 木炭の品評會

#### 本月下旬、市公會堂で

來る二十五日石城地方事務所及石城木炭生産組合連合會協同主催の下に市公會堂に於て木炭の品質改善をはかるため第二回石城木炭品評會を開催する郡内各地から生産者が腕をすくつた出品数は昨年約千點本年は約千點に倍増するものと見られる。

### 四ツ倉の火祭り

#### 十七日から盛大に行う

漁港四ツ倉町の珍しく變つた祭りとして注視されて居る火打合いは舊正月の十二、三、四の三日間(二月十七、八、九日)同町の境川をはさんで同町の町と仲町の若者數千名がもえさがる新打合ひの勝負を約束した方がその年の大漁を約束されるといふ言い傳がある。

### 十八日互樂會

平市に於ける將棋の二月例会は十八日午前九時より市公會堂で開かれます。



拾い読み

處は平郵便局の局長室御主人は言ふまでもなく局長の事務用大きなデスクの引出しから重要書類にしては小さすぎると思ふや紙の袋、中味は青酸カリならぬビーターツツ、局長さんお客さんが煙草を吸い始めるのと、このビーターツツをポリと、召し上る、お腹でも空いたのかと聞くと、生にあらす一席辯じて曰く生命保険も簡易保険も職務上大切で率先垂範だがそれよりまづお身体大事と健康上の理由で二十年來の愛煙から禁煙えお變え戀人に別れる切なきにも似て煙を見たら余計口が淋しく煙草をやめたいと別れると金に切手と手紙の代金がかさむ様に局長さん嘆息か妙案はないものか

## 祝 四倉町例祭 奇祭火打合

# 漁 大 祈

舊正 12 ~ 13 ~ 14      2月 17 ~ 18 ~ 19

四ツ倉町役場 町長 花澤 乙丸	縣會議員 植田 万次郎 電話 三二二番	四ツ倉町消防團 團長 片寄 留松	ハイヤーの御用は 電話八番 四倉町駅前通り 酒井 忠太	江口工業合資會社 江口 勇 電話 一七番	磐城セメント株式會社 四倉工場長 岡田 千早 電話 三三三番 工場長宅電話 三番	四ツ倉警察署 署長 加藤 喜平 電話 二一一番	四ツ倉郵便局 局長 豊田 武
四ツ倉漁業會 會長 長谷川長太郎 電話 五六番							
第一 司丸 第二 大和田キチ 第三 觀音丸	第一 善實丸 第二 新妻 春次 第三 佐藤 仲	第一 第七正徳丸 第二 第八徳丸 第三 第八幡丸	第一 第八幡丸 第二 刈込伊之助 第三 伊藤 長助	第一 第一・二・五・六 第二 長谷川 長太郎 第三 長谷川 西次郎	第一 康盛丸 第二 片寄 留松 第三 石井鐵三郎	第一 やよひ丸 第二 吉田彌十郎 第三 鈴木常松	第一 江戶前・立喰 第二 四倉隨一の壽 第三 新勝 電話 七五番
御見物にお出での方は氣分のよい 氣輕な當館へ是非御一泊下さい 旅館 海氣館 四倉町新町 電話 五番							